

## 袖ヶ浦福祉センター等改善状況調査（概要）

### 【 アドバンスながうら 】

#### 1 改善状況で評価できる点

##### （１）虐待防止体制に関する取組

- ・毎週行われているグループディスカッションでは、支援上の悩みについて意見交換が行われている。支援に関して迷いを感じるような事項について、他の支援員に相談をして多様なアドバイスを受けることができる点で良い機会である、との声が支援員から聞かれた。
- ・グループディスカッションの参加者については、他班の支援員の話聞くことができる機会を設けるという観点から、可能な限り参加者の所属が重ならないように選択されている。班を超えた支援員間の交流や情報交換についても配慮がなされている。
- ・振り返りチェックシートによって日々の支援の振り返りがなされており、チェック項目についても、支援に資するものとなるよう定期的に見直しがなされている。

##### （２）支援サービスの向上

- ・利用者が不穏になった場合の対応について、支援方針の統一が図られている。
- ・一人の支援員では支援が難しい利用者に対しては、複数の支援員が協力して対応に当たる体制がとられている。
- ・行動障害が強い方に対する支援に関して、外部機関の知見を取り入れて支援方法を工夫するなどの取組みがなされている。

##### （３）人材育成

- ・支援の現場で実際に課題となっている事項に焦点を当てた研修が、数多く実施されており、受講した支援員にとって有益なものとなっている。

##### （４）その他

- ・地域での生活を望んでいる利用者について、当該利用者の希望する生活が可能になるよう、各圏域の相談支援事業所とも連携した対応がとられている。

#### 2 今後も継続的に改善を必要とする点

##### （１）虐待防止体制に関する取組

- ・振り返りチェックシートの実施が、支援員にとって過度な負担にならないよう、実施頻度や実施方法を検討すること。

##### （２）人材育成

- ・勤務スケジュールの都合上、一度しか行われない研修については、希望する支援員全員が受講することが難しいことは十分予想される。受講できなかった職員に対して、研修内容が周知されるような措置を引き続きとること。

#### 3 その他（あらたに改善を必要とする点等）

- ・特になし。